

がんの増殖制御 拠点シンポジウム



基調講演

九州大学・生医研・分子医科学

中山 敬一先生

『次世代プロテオミクスが拓く医学生物学の新地平：90年来のがんの謎を解く』

拠点メンバーによる研究報告

島田 緑「DNA 損傷に応答するエピジェネティック制御」

渋谷 周作「アミノ酸取り込みによる細胞内代謝シグナルの駆動」

大濱 剛「SET/I2PP2A による PP2A 活性阻害機構とがんにおける役割」

藤本 充章「熱ショック応答での HSF1-PARP 複合体の役割」

松本 洋明「ハイリスク前立腺癌における新規分子マーカーの探索的研究」

2019年3月22日(金) 13:30~17:10

山口大学農学部共同獣医学部 2F 大会議室

本シンポジウムは山口大学研究拠点形成の予算で補助されております(飲み物つき)

問い合わせ先：島田 緑 083-933-5909, shimada@yamaguchi-u.ac.jp